

2023 年度支部活動【四国支部】開催報告
「これからの日本語教師・支援者に求められるもの」

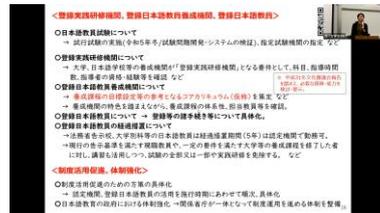
主催 : 公益社団法人日本語教育学会
共催 : 国立大学法人香川大学
開催日 : 2023 年 9 月 24 日 (日) 13:00~16:30
会場 : 香川大学幸町キャンパス (オンラインも同時開催)
参加人数 : 現地参加 34 名、オンライン参加 28 名、計 62 名 (会員 31 名、一般 31 名)

四国支部ではつながりづくりを大事にした支部活動を開催しています。コロナ禍以降はオンライン開催が続いていましたが、今年は是非対面でのつながりを復活させたく、遠方からのご参加等も考慮しハイブリッド開催としたところ、関東から沖縄まで幅広い地域からご参加いただきました。

今春法案が可決された日本語教育機関認定法について、非会員や地域の支援者の方々とも最新情報を共有すべく、昨年までの4県からの発表スタイルとは少し趣を変え、第1部では文化庁日本語教育調査官増田麻美子氏による『『日本語教育機関認定法』成立と今後の流れ』、第2部では新会長西口光一先生による「日本語教育をめぐる政策・施策と『わたしたち』として大切なこと」というご講演2本立てとしました。第1部は、豊富な資料に基づく法制化の背景や現状、今後の展開についての分かりやすいご説明、第2部は、第1部の内容をふまえ、「日本語教育の参照枠」やCEFRの確認、どのような力をどう養成するか、登録日本語教員の「意味」とは、といった本質に迫るご講演でした。休憩時間を利用して両講演に対する参加者からの質問・意見を募り、第3部では質疑応答と情報交換という形をとりました。所定のGoogleフォームを通じて、対面・オンライン双方の参加者から、休憩中のみならず第3部が始まってからも多くのご質問・ご意見が寄せられ、1時間の設定時間でも足りないほどの充実した情報交換が行われました。

終了後のアンケートでは、参加者の約7割、44名から回答が得られました。全体の内容については「大変満足」が28名、「満足」が16名、当日の進行は「大変満足」が21名、「満足」が23名、参加費についても44名全員が「適当な額」だと回答、予想以上の高評価に安堵しました。四国支部活動への参加は「今回が初めて」という方が半数の22名だったことから、機関認定や資格化への関心の高さが窺えます。

第3部のタイトルを、数年来の「いろいろあるよ！四国の〇〇」の流れを踏襲して「いろいろあるよ！四国の日本語教師・支援者の想い」とし、サブタイトルを、本学会の目指す学会像の文言を拝借して「『共に集い、行動する』ために」としましたが、このタイトルが示す通り、今後も関係者が互いにつながり、目標や想いを同じくして、新制度下での望ましい地方の日本語教育・支援のあり方を目指していきたいと、改めて思っています。ご講演を快諾くださった講師の先生方をはじめ、開催にあたりご協力くださった皆様、ご参加くださった皆様に心より感謝申し上げます。



左 : 増田様ご講演
中央 : ご講演配信画面
右 : 西口先生ご講演

(報告者 : 四国支部活動委員 塩井実香・元木佳江)